



せいひつ
静謐な時を切り取った
ような美しさ。繊細な筆
運びが作者の人となり
を感じさせる。

作者：松本花子氏

大月町

議会だより

令和7年5月1日発行
高知県大月町議会

第120号

1月臨時会 3月定例会

6年間 本当ありがとうございます

大窪秀直医師夫妻にインタビュー

聞き手（米谷勝市）

「ママ友もでき、楽しい子育てができました」

大窪 由貴 さん

大月町での子育てはどうでしたか？

楽しかったです。大月町で子育てできて本当によかったです。でも第一子が生まれた時、両親のサポートが無い状態での子育てが本当に不安でした。実際、真剣に高知市内へ戻ろうと思っていた。初めての赤ちゃん相談会も不安いっぱいでしたけど、すぐにママ友もでき毎月の相談会を子ども以上に私の方が楽しんでいました。赤ちゃん相談会は毎月、幼児健診も2ヶ月に1回と本当に手厚い。ひよこクラブに携わってくれた方々に感謝しかありません。第一子からコロナ禍で行事参加も少なかったですが、あつという間の6年間でした。

ママ友へのメッセージ

6年間、時に不安があっても子育てが楽しくできたのは、ママ友はじめ同級生の保護者の方々に支えていただいたからです。これで大月町とのご縁が無くなる訳ではなく、遊びに来るのでその時は変わらず仲良くしてください。



コロナ禍から育児 初めての保護者会

色鉛筆画

松本花子



表紙絵を描いたのは松本花子さん（写真）です。

花子さんは、70才くらいから色鉛筆画をはじめました。通信教育で教材セットを買い、まねをすることから始めたそうです。そこから自分の楽しみを見つけていきました。

色鉛筆でこんな絵が描けるのかと思えるような素敵な絵です。

花子さんの繊細さが見事に実った絵だと思います。



大月町への思い

「夫婦ともに、多くの方に支えられました」
大窪 秀直 医師

医師になり6年間を大月町で勤務しました。医学部を卒業しいろいろ赴任しましたが大月町が最長になります。その6年間で転機が訪れたのは第一子の妊娠でした。これは今でも大月町で一番嬉しかった事です。同時に夫婦二人、コロナ禍の遠隔地。両親のサポートもない状態での子育てを不安に思う妻を見ていたからです。不安は残るも無事元気に第一子が誕生。夫婦間で任期後高知市内へと考えていましたが出産後、不安を抱えていた妻が日々明るく楽しく子育てをしている姿が見られるようになりました。不安を取り除いてくれたのは子育て支援・保育所をはじめ支えてくださった方々のお陰です。特にママ友の存在は私以上に妻を支えてくれた部分があつたと感謝しています。育児の不安要素が解消され、職場では最高の医療スタッフ・最高の事務



大窪ファミリー

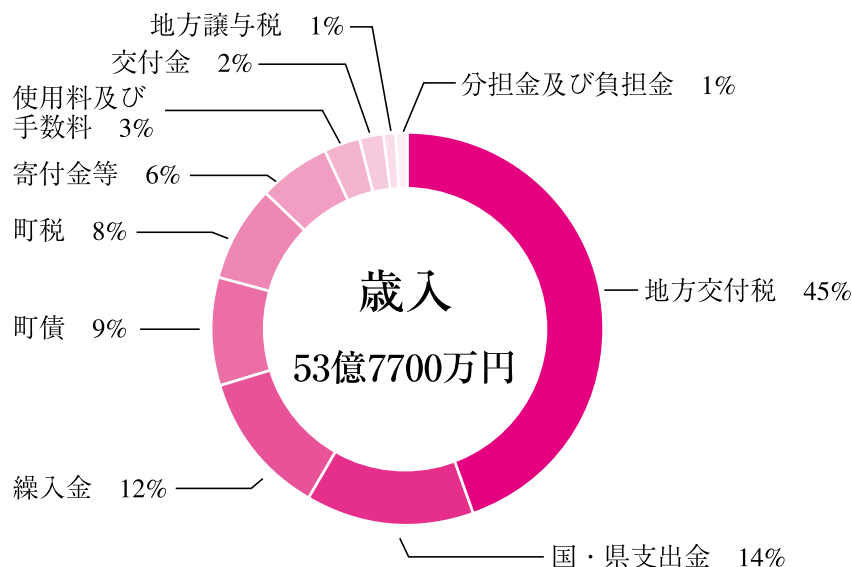
局員に支えられたことで仕事にも集中できました。第一子の時とは違い安心して第二子も大月町で迎える事ができました。本当に多くの方々に支えられた6年間でした。

大正診療所へ移っても月に1度は大月病院での内視鏡診療を行います。これからもどうぞよろしくお願いします。



天気にも恵まれ
芝生の上で大はしゃぎ

苦しいなかでも 積極的な財政運営



入るお金

・地方交付税、国・県支出金等、国や県から入ってくるお金は72%。
・町税、町債、繰入金等、町が用意できるお金は28%。

ことばをわかりやすく

地方交付税：自由に使えるお金として、国から町へ配分されるお金です。

国県支出金：特定の事業を行うために国や県から配分されるお金です。

繰入金：町の貯金を下ろして財源に充てるお金です。

町債：町の事業を行うために借りるお金です。

町税：町民税、固定資産税など町民が納めるお金です。



ふるさと応援基金、国・県からの補助金の積極的活用

※四捨五入のため、合計は一致しません。

歳入のポイント

◆令和7年度予算の特徴

地方交付税が増え、繰入金等の歳出を抑えることで財政調整。

◆自主財源の改善

町税の増加は難しい。ふるさと応援寄付金の活用を。

◆国・県からの歳入

事業実現には補助金のさらなる積極的活用が重要。

歳入	令和7年度(A)	令和6年度(B)	増減額(A)-(B)
地方交付税	24億1800万円	22億9600万円	1億2200万円
国・県支出金	7億7200万円	7億1500万円	5700万円
繰入金	6億3300万円	9億1200万円	△2億7900万円
町債	4億7100万円	4億8500万円	△1400万円
町税	4億1700万円	4億1400万円	300万円
寄付金等	2億9900万円	2億8700万円	1100万円
使用料及び手数料	1億4400万円	1億3800万円	600万円
交付金	1億3200万円	1億2500万円	700万円
地方譲与税	5900万円	5400万円	500万円
分担金及び負担金	3300万円	2600万円	700万円
歳入合計	53億7700万円	54億5200万円	△7500万円

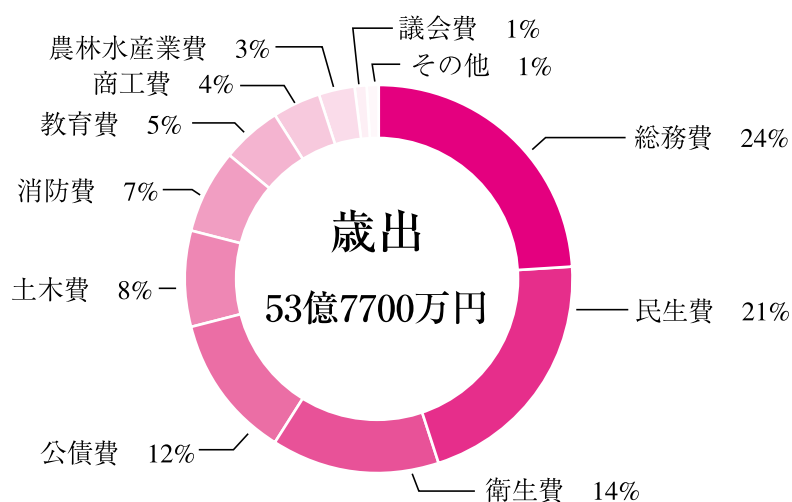
令和7年3月定例会の概要

2月27日から3月6日まで開き、令和6年度の補正予算、令和7年度の当初予算をはじめ、意見書、報告、条例、人事案件、指定管理、契約を含め計37議案を審査し、**全て可決・同意**した。

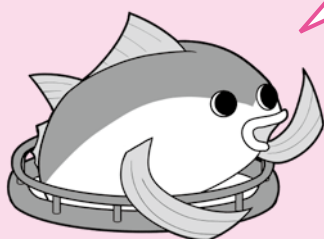
令和7年度 一般会計

使うお金

・歳出全体に占める総務費の割合は24%で一番多い。
・町の方針として一次産業推進をうたっているが、農林水産業費の割合はわずか3%。



説明します



大目の情報通 マグロくん

総務費：管理、企画などに使われます。
民生費：障害者支援、老人福祉、児童福祉などに使われます。
衛生費：健康づくり、環境衛生、塵芥処理などに使われます。
公債費：町の借金です。
土木費：道路、橋、河川の改修などに使われます。
農林水産業費：農林水産業の振興に使われます。

関係人口増・防災の取り組みを6ページで紹介

※四捨五入のため、合計は一致しません。

歳出のポイント

◆増額した項目

旧中央小学校、柏島老人憩の家の解体、災害時用のトイレ整備など。

◆全体のバランス

歳出全体を抑制しつつ、歳入確保のためのふるさと納税や、産業・移住・観光などの主要事業を継続している。

歳出	令和7年度(A)	令和6年度(B)	増減額(A)-(B)
総務費	12億6800万円	11億6600万円	1億200万円
民生費	11億4300万円	11億1100万円	3200万円
衛生費	7億4400万円	7億9400万円	△5000万円
公債費	6億3300万円	6億7500万円	△4200万円
土木費	4億1100万円	5億1100万円	△1億円
消防費	3億9800万円	3億2700万円	7000万円
教育費	2億7900万円	2億9000万円	△1000万円
商工費	2億3200万円	2億1900万円	1300万円
農林水産業費	1億8300万円	2億6900万円	△8600万円
議会費	5600万円	5400万円	200万円
その他	2900万円	3500万円	△600万円
歳出合計	53億7700万円	54億5200万円	△7500万円

COSAと檜西園地

小才角の「COSA」（コーサ）は、科学とアート、地域と世界、人と自然が交差する場として、地域の新しい価値と輝きを生み出すことを目指しています。

【主な活動】

- ・創作活動や研修のための滞在受け入れ
- ・交流会（地域交流、滞在アーティストとの交流）
- ・ワークショップ（背景美術、声優体験、魚拓づくり、紙づくり）
- ・企画イベント（ジェンダー展、幡多の三人展、月灘アートプロジェクト）
- ・公募展（みりよく展）

大月アウトドアフィールドKASHINISI（檜西園地）

は、自然の美しさを最大限に活かしながら、訪れる人々に特別な体験を提供することを目的としています。令和7年度からは、周防形のエコロジーキャンプ場と一体的運営が行われます。



大月町の取り組み①
関係人口を増やす

取り組み②

災害に強いまちづくり

住宅の耐震化

・耐震診断は昭和56年5月以前に着工した木造住宅が対象です。

①耐震診断（100件分）

耐震診断料8万4700円を全額補助



②耐震改修設計（50件分）

補助金額最大35万円



③耐震改修工事（50件分）

補助金額最大100万円

事前復興 まちづくり計画

発災後、復旧・復興事業に早期着手するため、あらかじめ被災後のまちづくりの目標や方針をとりまとめた計画。

津波浸水区域内にある沿岸18地区を対象に、地区にとって大切なこと、継承していきたいことなどを考える地区座談会から始まりました。

計画策定まで複数回の地区座談会、講演会などを予定。

議会から見た重点施策

取り組み③

命と暮らしを守る

地域医療の維持と、ずっと住める町へ

- ◆救急の受け入れも行っている大月病院は、大月町に住む私たちにとって、命に関わる大切な施設です。
- ◆高齢になると、デイサービスの利用、施設介護、地域密着型サービスのほか、様々な援助を受けられるようになっています。



【大月病院】5億9000万円 ※令和7年度予算総額

大月町の医療を担う、重要な病院。
医師はへき地医療協議会の協力を得ながら確保している。
人口減少や物価高騰に伴い、経営は大変厳しい状況にある。

※各介護サービスは、介護保険利用分の保険者負担・補填等。



居宅サービス 1億3000万円

自宅で生活をする人を対象に、訪問介護や福祉用具貸与等が利用できる。



施設介護 4億円

介護認定を受けた方が、介護度に合わせた老人ホームなどの施設に入所できる。



地域密着型サービス 1億円

町内事業者が住民にサービスを提供する。大月町ではグループホームが該当。

その他

4000万円

サービス費以外の居室料・食事代など。

予算 審査

3月4日、5日、
全員協議会で
各担当課を招いて
審査をしました。
質問と答弁を紹介
します。

教育環境の充実

子育て補助金（笹木）



問 大月町子育てがんばろう事業補助金
622万円の詳細は。

答 中学卒業後から高校3年卒業までの子ども
に、5月1日から通学補助として毎月9千円
を支給するものです。

高校生通学・下宿

費用支援（中田）



問 11年度以降の生徒にも不公平とならぬよう
考えているか。

答 令和11年度以降も、支援を継続していく計
画を立てています。

放課後子ども教室委託料 （依岡）



問 放課後子ども教室実行委員会の委託料44
1万円の増額の説明を。

答 子ども子育て支援の観点から、児童クラブ
への移行も視野にいれた運営協議会を立ち上
げ、充実した放課後子ども教室にします。

障害児受け入れは（松田）



問 重度の障害児で全介助（補助）が必要な子
どもの受け入れは。

答 現在は障害をもった子どもはいません。4
月から入園予定者1名で、保育士2名が研修
をし、受け入れ準備中です。

福祉環境の充実

施設介護給食材料費

（安岡利）



問 需用費の給食材料費が占める割合が上昇し
ている要因はどこにあるか。

答 物の単価上昇が影響しています。

社協補助金（米谷）



問 社協の赤字補填をしているが、これは単発
で終わるのか、経営内容の改善が先に必要で
はないか。

答 単発かどうかはわかりません。補助金のう
ち600万円が赤字補填分として増額してい
ます。経営改善を視野に協議を重ねています。

介護サービス等諸費

（笹木）



問 566万円減額になっている理由は。

答 特別養護老人ホーム、ぎんなん荘、病院系
の老人ホームなどの在宅介護サービス給付費
の減額によります。

特養サービス費（浦木）



問 大月荘の介護施設サービス費1300万円
ほど増えた要因と目的は。

答 パートタイムからフルタイムへ変更し、働
く条件をよくしました。

公共環境の充実

河川改修（谷）



問 河川改修予算が1億2千万円組まれているが、この予算と完成予定の説明を。

答 田代川の昨年度からの繰り越しと、本年度の総額予算です。田代川河川改修工事完成は令和8年度末の予定です。

常備消防（安岡邦）



問 消防団員の充足は。

答 定数253人のところ欠員15人となっています。補充は大変難しく、対策として災害時には分団単位で出動することとしています。

COSA（コーサ）（米谷）



問 予算や委託料が適切か。委託先の選定と積算根拠を。

答 総合、体験、国際の3名で働いていたが国際が減になりました。委託料は日額1万5千円。高知からは旅費も含め2万3500円。イベントは展覧会、教育交流、ワークショップを4回予定。予算はそれぞれ200万円。

公共施設除却工事（安岡利）



問 工事請負費にある公共施設除却工事の内容は。

答 旧中央小学校校舎と柏島老人憩の家解体工事費です。

バス車両購入補助金（安岡邦）



問 大月町地域路線バス車両購入費補助金について、前年度もほぼ同程度計上していたが理由は。

答 地域路線用バスが20年以上経過しており、購入するものです。更新が必要な車両は24台あり、毎年度購入しなければなりません。

町史編さん（浦木）



問 町史編さんの内容や完成予定は。

答 高知大学の宮里先生の協力を得ながら、今までの町史に現代までの記事を追記し、令和10年発行の予定です。

戸籍住民基本台帳（安岡邦）



問 コンビニ交付件数は。

答 コンビニ件数400件、1か月平均10〜20件。コンビニ手数料は1件あたり110円。

税環境その他

賦課徴収費（安岡利）



問 幡多広域租税債権管理機構への負担金はどういった内容のものか。

答 債権回収の主な取り組みを行う機構への負担となります。

町税（安岡邦）



問 個人住民税が前年度と比較して667万円増額しているが、増額の要因は。

答 3か年（4・5・6年度）平均を目安としています。6年度収入が4年度の収入近くまで伸びており増額となりました。

外商強化事業（中田）



問 増額の理由は。

答 ふるさと納税に関するHPの見せ方や地産外商に力を入れていくためのものです。

ふれあいパーク委託料（米谷）

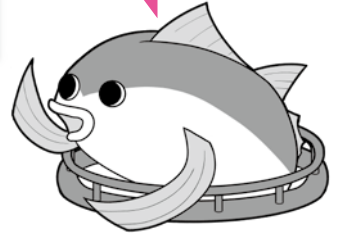


問 昨年までの指定管理委託料1千400万円から倍に増額された理由と新設の外商強化委託の900万円の目的は。

答 常勤副理事長人事による増額とふるさと納税の手数料として2%ほどしか支払っていないのでその補填です。

議案を

解説



契約変更

◆ 柏島地区漁業集落環境整備工事請負契約の変更に係る専決処分

工期を、令和7年2月6日から3月14日へ変更。他工事との兼ね合いにより、埋戻し・生コンクリート打設工の調整。

◆ 令和6年度3.5tダンプ購入業務契約

粗大ごみ収集車の納入期限を、令和7年3月31日から8月29日へ変更。

◆ 車両一体型給水タンク車購入業務契約

納入期限を、令和7年3月31日から12月26日へ変更。

いずれも、部品等の物流遅延により、年度内の納品が不可能になったため。

◆ 町道古満目線落石対策工事

工期を令和7年3月31日から7月28日へ変更。支障となる電話線等の移設調整の結果、標準工事日数が確保できないため。

条例

◆ 廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

粗大ごみの出し方を証票の貼り付けに変更するもの。1枚55円(税込60円)。

◆ 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

育児や介護を行う職員が利用できる制度の一部改正。適用範囲の拡大など。

◆ 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

◆ 大月町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

◆ 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

◆ 大月町税条例の一部を改正する条例

◆ 大月町地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

法改正に伴う所要の改正。

◆ 大月町議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例

「禁固」を「拘禁刑」に改め、所要の改正を行うもの。

一般質問を傍聴して

全員一般質問を

この度、大月町老人クラブ連合会の事業としての町議会傍聴に参加しました。5名の議員さんが、それぞれの立場

で質問していました。色々と勉強しており、具体的などころまで質問し、町長に答弁を求めておりました。

その質問の中で、何度か議員さんが「具体的に答えてほしい」と町長に質問していました。町長が答えていなかった。町長が休憩を宣言し町長に「もっと具体的に答えるべきだ」と、うながしていたのが印象に残っています。緊張感のある場面でありました。

ただ、10名の議員のうち質問したのは5名であり、全員の議員さんが質問してほしいと思いました。



家方孝さん

指定管理

◆ふれあいパーク・大月

- ・一般社団法人 大月町ふるさと振興公社
- ・令和7年4月1日から令和10年3月31日

◆大月町観光情報発信センター

- ・認可地縁団体 柏島地区会
- ・令和7年4月1日から令和10年3月31日

◆大月町エコロジーキャンプ場と大月アウト

- ・ドアフィールドKASHINISHI
- ・株式会社FoundingBase

代表取締役 山本賢司

- ・令和7年4月1日から令和12年3月31日

人事

◆教育委員

◆固定資産 評価審査委員

- 成谷慎治氏（西泊）
- 池アユミ氏（柏島）
- 乾正二氏（安満地）
- 兼松照章氏（芳ノ沢）
- 竹田耕作氏（姫ノ井）

意見書

◆ガソリン暫定税率の即時撤廃を求める意見書

国民の生活や経済活動を守るため現在のガソリン暫定税率を直ちに廃止し、税負担を軽減すること。

提出者・中田巖議員、賛同者8名から提出され、全員一致で可決し関係省庁へ送付しました。

3月議会議案

全て可決・同意

- ・補正予算
- ・当初予算
- ・条例
- ・人事案件
- ・指定管理
- ・報告
- ・意見書
- ・請願 陳情

町民に「開かれた」議会を

町にとって重要な議題がたくさん挙がった議論の場だと感じました。

議会が出たテーマのうち、「いつまでにやるのか？」「どのようにやるのか？」について、是非今後の議会で明確になってゆくようなご質問に期待したいです。

また、せっかく沢山の町にとって重要な議題を取り扱って頂いているので、町民にとつて、より「身近な」議会を、今後目指して頂けると嬉しいなと感じました。

例えば、平日仕事で参加できない人等、様々な事情で傍聴に参加できない人も、議会で話し合われている全貌を知ることが出来ると、町民がより「まちづくり」に参加しやすくなるのではないのでしょうか。

これから、町民に「開かれた」議会を目指して、よりご活躍頂けたら嬉しいです！



湯田舞さん

請願 陳情



◆ふれあい市建替えの請願

産業建設常任委員会 審査結果

- ・問題点の改善を図ると共に、さらなる発展の可能性を含めた建替えとすること。
- ・専門家やふるさと振興公社、ふれあい市出品者協議会を中心とした検討委員会を設置し、現場で働く人たちの声を反映させること。

◆臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情

- ・国際問題に発展する可能性を含んでいるので、国の判断に委ねられるべきとして不採択とした。

◆精神障害者保健手帳所持者に対する精神医療費及び一般医療費への助成制度（重度心身障害者医療費助成制度）への意見書提出を求める陳情

- ・継続審査

令和7年1月27日

臨時議会

補正予算9件、条例5件を
全員賛成で可決しました。

条例

人事院勧告にともなう改正

- ・大月町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
- ・大月町の一般職に属する技能職員の給与の種類及び基準を定める条例等の一部を改正する条例
- ・大月町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

期末手当に係る改正

- ・大月町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- ・町長等の給与及びその他の給与並びに旅費支給条例の一部を改正する条例

補正予算

※四捨五入のため、合計は一致しません。

	補正額	計
一般会計	1億700万円	59億6300万円
特別養護老人ホーム	500万円	3億6000万円
国民健康保険	100万円	8億3400万円
介護保険	300万円	8億8300万円
後期高齢者医療	50万円	1億700万円
給与等集中処理特別会計	3100万円	8億9400万円
病院事業会計	1200万円	5億7600万円
簡易水道事業会計	60万円	1億9000万円
漁業集落排水処理事業会計	90万円	1900万円
合計	1億6200万円	98億2700万円



米谷 勝市 議員

防災対策

すべてにおいて出遅れでは
情報公開後に対応／町長



防災バック

問 南海トラフ巨大地震が発生した際の新たな被害想定を政府が3月末までに発表する。現在進行中の事前復興計画も黒潮町はすでに完成している。初動の遅さが歴然。迅速な予算獲得のため事前に対策チームの設置または検討をしているか。

岡田町長 まだ具体的なものは公表されていません。今後、公表される新たな被害想定や減災目標に基づき、本町としても県と連携を図りながら必要な見直しを行っていきます。対策チームの設置につきましては、必要であれば検討していきます。

問 4月から運用見通しと間近に迫る「即時応援県」だが、発災時に迅速な救援体制が取れるよう、高知県には島根県、応援する自治体として秋田県が設定されている。県最西部の本町においてどのような規模での応援が想定されているか、県からの情報公開や情報共有は行われているか。

岡田町長 甚大な被害が想定される10県に対し4月以降において応援側・受入側双方の自治体で県単位による協議が進んでいくものと思われれます。現在、内容等が届いていませんが期待をしています。

問 柏島をはじめ孤立想定地区や道の駅など観光拠点とされている施設・地区に、観光客や避難が困難な高齢者対策として予め備蓄品を町主導での増設か、町がローリングストックしている備蓄品の賞味期限を残し地区へ分配する考えはあるか。

岡田町長 まずは自助の取り組みを、ご家族または地区でご検討ください。最大想定避難者数2500人の方が必要な数量の7日分の水・食料を現在備蓄しております。観光客につきましては人数想定が困難であります。ローリングストックということになれば、今後どう対応していくか状況が可能であれば検討させてもらいたいと考えています。

観光振興

唯一無二の観光資源をPRに
活かさない手はない／町長



柏島のイルカ

問 足摺宇和海国立公園が指定され53年目となる。同時に海域公園地区に計6地区が指定されている。本町は6地区のうち3地区と最も。公益財団法人黒潮生物研究所は長年に渡り独自性を持って研究を続けている。サンゴをはじめ多くの海洋生物研究者が世界各国から訪れる稀有な海が大月の海。

岡田町長 調査内容を共有し、まだ見ぬ大月ファンの掘り起こしに最大限活用する考えはあるか。

岡田町長 研究結果を見て我々の知らないような研究を行っている。確認しました。優れた研究所でありながら活かさない方法はないと考えます。黒潮生物研究所と協議をしながら勉強させていただきたいと思っています。

安心安全

COSAへの道路の拡幅は

実施したいと考えています／町長



新谷 伸 議員



国道から小才角への進入路

問 COSAに行くには、道路も狭く車等の往来も大変だと思うが、拡張する予定は。

岡田町長 国道321号線から施設までの町道につきましては最小幅員2.3メートルの狭あいな町道であり緊急時や災害時において緊急車両の乗り入れが困難であることから地区の要望や緊急、防災面の観点からも拡幅工事の必要性は感じています。地権者の協力が得られるならば町道小才角線の拡幅は実施したいと考えています。

財政・広報

COSAの運営経費・広報は

想定内・積極的に／町長

問 光熱費、委託料を含め運営経費はいくらか、また、想定内か。

岡田町長 施設整備と開設までのプレオープン令和4年度は、16万8千139円、令和5年度は14万1千796円。令和6年度最終予算ベースでは15万9千270円になっています。国の地方創生交付金を申請していましたが、3か年の事業経費は想定内の計画通りとなっています。

問 イベントの広報、町外への広報はどのように考えているか。

岡田町長 周知活動は大切だと考えていますので、今以上に広報活動に取り組んでいきます。町外への広報ですが、施設のPRやSNSでの発信に加え、チラシの配布など、幡多エリアではありますが、徐々に広域の周知活動へ移行しているところですので、内容で積極的に周知していきたいと考えています。



COSAへの進入路

イベント

開催・関わりは

拡充・リピーターの

増加／町長

問 当初計画と比較してイベントの開催状況及び来場者数は。

岡田町長 イベント開催数や集客数は、計画を上回る実績となっています。令和4年度イベントの開催数は、6回延べ634名、令和5年度イベントの開催

数は、63回延べ2777名、令和6年度2月中の集計でイベントの開催数は、65回延べ3211名。今後も引き続き新たな来場者の獲得とリピーターの増加に努めていきたいと考えています。



COSA



中田 巖 議員

地方創生2.0

具体的な重点施策は

道の駅の改修から／町長

問 政府はこれまで地方創生の取り組みを見直し、今こそ地方が主役とし、新しい施策として地方創生2.0を打ち出した。この交付金は、新たに地方公共団体が自由度の高い事業を行うことができる交付金で、ハードとソフトや、分野間連携の事業を一体的に支援するものである。

岡田町長 振興計画に掲げる6つの基本目標の達成がすべて重要な施策であると考えています。中でも、人口減少に歯止めをかけることが重要施策です。そのためには地域経済の活性化を図りながら地方創生2.0を活用して、ふれあい市を含む道の駅の改修を進めるように、各省庁や県の補助金等の財源確保に努めていきます。



地方創生の重点施策

教員の人財確保

過酷な職業という印象

教員の喜びを伝えていく

／教育長

問 子どもたちの教育を受ける権利を守っていくため、さらには将来の日本を支えていく人材を育てていくためには、質の高い教育を受け続けてもらうことが必要である。そのためには、高い技能や知見、そして情熱に溢れた教員を確保し続けていくことが必要であると考えますが、教育長の考えは。

伊与田教育長 教員の職務負担が増大し、その過酷さが社会的に広く認識されるようになってきています。教員の長時間勤務や多様な業務の負担が指摘され

ており、このままでは教育の質を維持しながら、優秀な教員を確保し続けることが難しくなるのではないかと、懸念は、私も深く認識をしています。

問 昨年11月に、高知県教育委員会が実施した2025年度の小学校教員の採用試験で合格を通知した280人のうち、204人が辞退したという衝撃的なニュースが飛び込んだ。教員という職業が今や過酷な職業という印象になっているのではないか。



より充実できる学校生活を

社協支援

社協支援の具体策は

600万円増額を決定／町長



浦木 秀雄 議員

問 社協支援について町長は、3月の予算案で何らかの形を示すと答えていた。予算案に組み込んだ社協支援はどのようなものか。

岡田町長 昨年度の社協支援は1560万1千円で、地域福祉の維持を一番に考え、令和7年度は2163万7千円を計上、対前年度比603万6千円の増額を決定しました。

問 改善計画は、どのように考えているのか。

岡田町長 高知県より介護の生産性向上を支援するために委託を受けている業者に、経営改善に向けた伴走支援や、場合によってはその他の支援も取り入れるなどして、経営改善計画の作成を予定しています。

交通弱者対策

交通弱者を減らす努力を

生活と交通を

踏まえ検討／町長

問 大月町の公共交通の現状はどのようなになっているか。

岡田町長 まちづくり推進課長 土佐清水市と宿毛市間は、平日8便、土日祝日5便が運行。各地区を結ぶ生活交通バスは、15路線で運行。スクール専用及び混乗用が1.5往復。生活交通用として最大1日3往復から最低1往復。まちなか循環バスは平日6往復。

問 費用は総額7074万9千円です。

岡田町長 交通弱者を減らすために住民の声を集約し、その対策を講じるために審議会を設け、検討していくことを提案する。

岡田町長 買い物と生活、通常の生活弱者の意見、地域の足を確保することを踏まえて、検討していきます。



社協へは伴走支援

産業振興

何に取り組むのか

具体的には言えない／町長

問 向こう4年間、産業振興の何に取り組むのか、具体的に示せ。

岡田町長 具体的にこれということは言えませんが、今後につきましても、これまで通り、一次産業全般について、生産者の皆さんと意見や要望を聞きながら、関係者一体となって産業振興に努めていきたいと思っています。

問 共同で農産物の加工販売を目指すためのシェアキッチン提案する。

岡田町長 食品加工に取り組みたいとの相談がございましたら、「大月町食品加工業継続支援事業補助金」を活用し、事業内容を精査し、必要であれば可能な支援を検討していきたいと思っています。



具体性がほしい産業振興



ビジョン

4期目に向けての決意は

まちの将来像を見据えて／町長

問 3期12年間に
て、住みたい・住める・
住んで良かったまちづ
くりを、岡田町政とし
てやってきた成果につ
いて、どのように捉え
ているか。

岡田町長 福祉・教育・
産業・安心安全・快適
便利・協働の「六つの
まちづくり基本目標」
において、それぞれ成
果があったと考えてい
ます。しかし人口減少
や少子高齢化に歯止め
はかからず、若者世代
の減少等により、第一
次産業、地域経済の低
迷から脱却できたとは
言えない状況でありま
す。

問 人口減少に歯止め
をかけるのは非常に難
しい、人口が減っても
町民が安心して暮らせ
る町づくりを進めるべ
きと考える。次の4期
目への決意と思いは。

公共施設

改修、解体処分は

計画に基づいて

対応していく／町長

岡田町長 喫緊の課題
は人口減少対策です。
後期高齢化がまだまだ
進むと思っています。
そういった状況の中で、
私が掲げた第7次振興
計画・将来のビジョン
等に向かって、この4
期も進まなくてはなら
ないと考えています。



解体処分を待つ公共施設

問 処分の対象となっ
ている公共施設は何件
あるのか、その予算は
幾らと想定しているの
か。

岡田町長 除却等の検
討を行う施設は20施設
39棟です。予算につ
きましては、概算総額で
6億1千万円を想定し
ていますが、特殊な廃
棄物処理や、立地条件
等、施設に応じて調査
が必要で、正確な総額
の算出はできません。

問 負の遺産を後世に
引き継がないように、
この4年間で財政計画
を策定しておくべきと
考えるが。

岡田町長 2011年
から2035年までの
15年間で計画はしてい
ます。状況によっては
変更等もありますが、
財政状況を踏まえなが
ら対応していきます。

問 公民館の改修は総
合施設として検討委員
会を立ち上げ進めると
してきたが、どうなっ
たか。

岡田町長 豪雨災害や
コロナ禍で、多額の出
資金や繰出金が必要と
なり、財政的な見通し
が立たず、協議会の立
ち上げには至っていま
せん。

問 多数の改修施設が
あるが、公民館の改修
は総合的施設として改
修が必要と考えている。

財政計画を担保し検討
委員会を立ち上げるべ
きではないか。

岡田町長 道の駅、病
院、そして公民館、先
ずはこの3施設から計
画を進めなくてはと考
えています。財源を模
索しながら、検討委員
会を設置するなど、判
断していきたいと思い
ます。



総合施設として改修が必要な公民館

まちのあの人、こんな人。
こんにちは

井上孝秀・のり子夫妻

高知県に 移住して挑戦

平成11年に大月町の養鶏場が経営中止になることを知り、単身で愛媛県から大月町唐岩へ移住。その次の年、飼養羽数1万羽でブロイラー経営を始めました。

四国1位を目指して

平成19年には「株式会社ヤマニファーム」を設立。国の制度を活用したり、規模拡大を図ったりして、常時飼養羽数25万4千羽、年間では146万3千羽を飼養。四国第一位を達成しました。

協議会を設立

地域資源を活用した高品質で安全・安心の鶏肉生産・販売を目指して、耕種農家、JA、飼料会社、大月町ふるさと振興公社、大月町及び県で構成する「大月町畜産クラスター協議会」を設立しました。

ブロイラーの ブランド化

令和3年には「よさこい尾鶏」を商標登録しました。処理前にストレスを与えないように炭酸ガス麻酔で眠らせ、国内初の空気冷却方式（エアチラー）と水冷方式を併用して解体し「よさこい尾鶏」として出荷しています。

子どもからリクエスト

大月小・中学校の給食メニューに自社生産の鶏肉とレモンを食材として提供し「鶏肉とレモンを組

み合わせたメニューは、子どもからリクエストがでるほどです」と、微笑みながら語ってくれました。

雇用創出に貢献

地元雇用と農福連携にも力を注ぎ、地元6名、障がい者2名を常時雇用。また、出荷時（年間312日）のアルバイト8名を雇用し地域の雇用創出に貢献したと等により農林水産大臣賞を受賞しました。

その努力に深く敬意を表します。

（取材 依岡一生）



編集後記

今回の議会だよりは、3月定例会での当初予算が主役になります。わかりづらい用語ばかりです。先輩議員と一緒に学びを深めながら審査を行いました。町民の皆さんに直接関係する社協の経営不振から、見えづらいCOSA（コーサ）の運営課題と多岐にわたります。未来の大月を決める大事な予算です。

町民の皆さんのご意見をなどを反映させながら、よりわかりやすい議会だよりをお届けできるよう頑張ります。

議会の傍聴にも、ぜひお越しください。

（米谷勝市）

編集委員

委員長	浦木 秀雄
副委員長	依岡 一生
委員	米谷 勝市
委員	笹木 章弘
委員	松田 照代

四国イチ

から

めざせ

日本一！